

各 位

上場会社名 株式会社ビーイング
 代表者 代表取締役社長 津田 能成
 (コード番号 4734)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 後藤 伸悟
 (TEL 059-227-2932)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記
 平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,700	20	30	20	2.50
今回発表予想(B)	1,760	70	90	80	10.20
増減額(B-A)	60	50	60	60	
増減率(%)	3.5	250.0	200.0	300.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300	7	20	10	1.30
今回発表予想(B)	1,380	55	75	65	8.30
増減額(B-A)	80	48	55	55	
増減率(%)	6.2	685.7	275.0	550.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	923	△296	△276	△260	△33.16

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、土木工事積算システムのバージョンアップ版を期首に投入し、これを中心に当社の各種商品を組み合わせるシステム連携効果を実現する「建設ICTソリューション」提案を果敢に進めたことにより、当初予想を上回る見通しとなりました。

営業利益は、変動原価以外のコスト・経費を計画通り維持したことによって計画を上回る見通しとなりました。また、経常利益、四半期純利益にはさらに保険解約返戻金加わり、計画を上回る見通しとなりました。

今後、中期的な展望のもとに「建設ICTソリューション」の一層の前進を図ってゆきたいと考えています。

通期の業績につきましては、依然として今後の政治経済の動向が不透明であるため、現時点では変更は行わず、当初の目標である通期黒字の実現をめざして邁進する考えであります。

(注)当社は、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の第2四半期連結累計期間の実績については記載しておりません。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上